

<p>【技術の名称】 前田建設・銭高組・東洋建設式 RCS 接合構法 －梁貫通型柱RC梁S構造の接合部構法－（改定3）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-13号 改3 性能証明発効日：2015年5月19日</p> <p>【取得者】 前田建設工業株式会社 株式会社銭高組 東洋建設株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート(RC)造柱と鉄骨(S)造梁との接合部を構築する構法である。本構法によるRC造柱S造梁接合部の特徴は、以下の通りである。1)X、Y両方向の鉄骨(H形鋼)梁を貫通させ、接合部の周囲にふさぎ板またはせん断補強筋およびRC造柱S造梁接合部とS造梁の境界部に支圧板を配置する。2)RC造柱S造梁接合部のせん断補強筋には、GBRC性能証明第02-11号を取得した前田建設工業株式会社開発のSRC-LAPhoop およびBCJ評定-RC0077-01を取得した岡部株式会社製のOSフープクリップを用いることができる。3)最上階の柱主筋は、第三者機関による技術評価を得た機械式定着金物を用いて本構法設計施工指針で定める必要長さ以上をRC造柱S造梁接合部内に定着し、柱主筋定着部付近にせん断補強筋および柱頭部にコ形補強筋を配置する。

【改定の内容】

- 新規：GBRC性能証明第08-13号（2008年11月4日）
改定1：GBRC性能証明第08-13号改（2013年1月22日）
- ・バンドプレートの追加
 - ・段差梁の構造規定の追加（ふさぎ板形式のみ）
 - ・直交梁せいの構造規定の追加（ふさぎ板形式のみ）
 - ・梁の偏心に対する構造規定の追加（ふさぎ板形式のみ）
- 改定2：GBRC性能証明第08-13号改2（2014年5月19日）
- ・柱梁接合部の施工方法にプレキャスト工法を追加
 - ・バンドプレート採用時の構造規定（寄与係数）を追加
 - ・段差梁、梁偏心をせん断補強筋形式にも適用可
- 改定3：GBRC性能証明第08-13号改3（今回）
- ・ふさぎ板どうしの接合方法に折り曲げ加工を追加

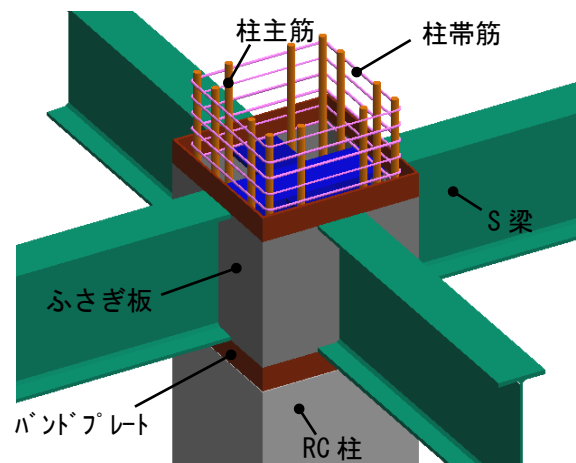
【技術開発の趣旨】

本技術は、工期および施工費用の制約条件の下、設計で要求される構造性能の確保が可能なRC造柱、S造梁からなる混合構造建築物の実現を意図して開発されたものである。

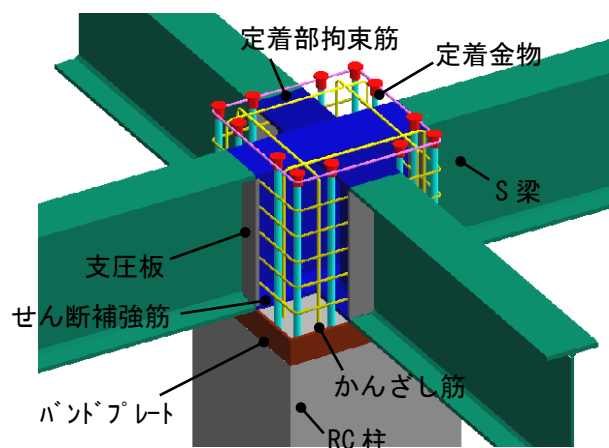
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「前田建設・銭高組・東洋建設式 RCS 接合構法 設計施工指針」に従い設計・施工されたRC造柱S造梁接合部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない。また同指針に従い求めた終局せん断耐力以上または終局支圧耐力以上の耐力を有する。



ふさぎ板形式（中間階）



せん断補強筋形式（最上階）

【本技術の問合せ先】

前田建設工業株式会社 担当：成瀬 忠
〒179-8914 東京都練馬区旭町1-39-16
株式会社銭高組 担当：五十嵐治人
〒102-8678 東京都千代田区一番町31
東洋建設株式会社 担当：荒金直樹
〒300-0424 茨城県稲敷郡美浦村受領1033-1

E-mail：tnaruse@jcity.maeda.co.jp
TEL：03-3977-2242 FAX：03-3977-2251
E-mail：igarashi_haruhito@zenitaka.co.jp
TEL：03-5210-2440 FAX：03-5210-2462
E-mail：aragane-naoki@toyo-const.co.jp
TEL：029-885-7511 FAX：029-885-7766